

小児科診療

次号
予告

第89巻1号 (2026年1号)

外来でみる小児のコモンな感染症

I. 皮膚

治らないおむつ皮膚炎	杉村知江子
浸出液を伴う発赤と表皮剝離	遠山雄大
頬紅潮と上肢の発疹	要藤裕孝
体幹の発疹	寺田喜平
解熱後の発疹	井上佳也
痛みを伴う集簇する赤い斑点と水疱	渡辺大輔
熱感と圧痛を伴う発赤腫脹	五十嵐成

II. 口腔

口腔粘膜の異常	吉田美智子
歯ぐきの発赤腫脹, 口内炎	西村直子
咽頭痛・口呼吸	藤井可絵
軟口蓋の小点状出血・莓舌	関満

III. 感覚器

眼脂, 結膜充血, 眼瞼の腫瘍	内尾英一
目の周囲が赤く腫脹	神川洋平
耳が痛い	宇田和宏
耳の下が腫れた	仲野敦子

IV. 呼吸器

犬吠様咳嗽	岸部峻
喘鳴	小林久人
激しい乾性咳嗽	大石智洋

V. 消化器

嘔吐・下痢	新妻隆広
腹痛・血便	葛西健人

VI. 泌尿器

尿の混濁, 異臭	梶保祐子
----------	------

VII. 中枢神経

意識障害	小俣卓
------	-----